

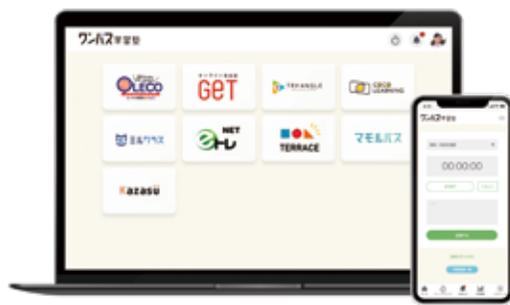
シングルサインオンの魅力 最先端のLMSでICTコンテンツを一元管理へ

ICTコンテンツのハブを担う

「ワンパス」という新しいサービスが始まりました。その特徴はどういったところにあるのでしょうか？

今、学習塾へは様々なベンダーからICTコンテンツが提供されています。ですが、コンテンツごとにIDやパスワードが設定されていて、管理などが煩わしくネットワークになっています。また、いくつか他社との連携パッケージのようなものがあったとしても、基本的には部分的な繋がりで、シングルサインオンにはなっていない。普通だと利害を考慮るので成り立たないと思うんですね。

これを解消すべく「ワン



「ワンパス」で複数の教育ICTのツールや教材をまとめて管理できるようになる

パス』を開発しました。「ワンパス」は各社の教育プラットフォームやコンテンツを下支えし、連携（ハブ）を担うLMS機能を搭載した「マイページ」です。我々は、この最新の「マイページ」を全ての学習塾に提供

することを目標に、何よりもすぐ始められるという観点で作りました。そのため、利用料や導入費用は無料になっています。

先を見据えた投資

「ワンパス」を開発した背景にはどのようなことがあるのでしょうか？

2025年になると、おそらく5Gが一般化して、一斉にインフラが変わることが予想されます。その前に、学習塾は投資余力をデジタルに振り向けるべきだと考えています。また、このコロナ禍で消費者の視点もだいぶ変わり、映像授業や遠隔授業の受け入れに対する心理的ハードルが非常に下がったことも大きいです。



「ワンパス」の代表的な機能は、シングルサインオンや各家庭ごとにマイページを提供できることだ

いとできません。

二つ目が「指導コンテンツのシステム全面変更」です。コンテンツは、例え



エデュラインの地福武史代表

ばOLECOなどですね。この変更が必要かと言うと、コンテンツが一塾あたりいくつか入っていると

管理メソッドがあると思いますが、そのメソッドを全面的に見直した方がいい時期になったのではないのでしょうか。

思うのですが、IDやパスワードの管理に先生の時間を取り過ぎてくるからです。これでは本来やるべき仕事ができない。昔からこういった課題はありますが、今は顕著だと思います。そこで『ワンパス』を導入することで、シングルサインオンが実現でき、これだけでもかなりの労力がかからなくなります。

三つ目が「授業内容と家庭学習の管理」です。これは、都市部、地方、あるいは大手、個人塾問わず、各塾に

ります。そして何より重要な

が、「ワンパス」を使って双方向にやり取りする機会を増やし、コミュニケーションを図ることで、これによってファンを増やし、帰属意識を高めていく。ファンを増やせば、退塾の減少にも繋がると思いますが、紹介も増えるはずですよ。

魅力はシングルサインオンだけではない

具体的にはどんなことが「ワンパス」のできるのでしょうか？

例えばiPhoneには、様々なアプリがiOSに載っていますが、「ワンパス」もアプリ、つまり各社の教育コンテンツが「ワンパス」という「マイページ」に繋がるイメージです。また、iPhoneには「時計」などの独自アプリもあります。同じように「ワンパス」にも学習管理関係の独自機能を実装しています。

この機能の特徴を挙げる

と、1つ目は先に述べた「シングルサインオン」です。次に「学習管理」。生徒の学習履歴や学習時間の計測はもろろんのこと、デジタル自習室の管理も可能になっています。塾側の管理画面から見ると、生徒の誰がアクティブかがわかります。逆に生徒側も今、デジタル自習室にいる先生の中で、誰がアクティブかがわかり、必要ならZoomなどで質問もできます。

あるいは、一般的なマイページで使われている機能、掲示板機能、アンケート機能、添付ファイルのお知らせを送るなど、保護者や生徒への連絡機能なども入っています。他にも随時、追加していく予定です。

カスタマイズも可能というわけですね。

そうです。コンテンツについては、だいたい半期ごとに何度か更新していくかと思っています。

また、「ワンパス」に各塾さんが導入しているコンテンツの全てが載っていない場合、2つ3つだけでも載っていれば確実に利便性は高まるし、シングルサインオン機能だけでなく、管理機能だけでも利用する価値はあるはず。何より無料ですから、迷うようであれば、まずは導入していただければありがたいですね。



各ツール事の学習時間の計測や管理といったLMSの機能も搭載している